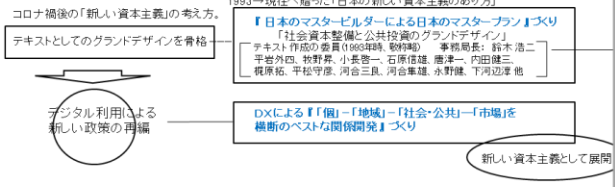


「国民が自律的に動くことのできるマスタープランづくり」 「誰にとっても分かり易く、熱い胸を打つ目標と組立てが欲しい。」 「主体者の成長のために」が全て 「分かり易い実行計画」と連携が主体者の夢をつくる

「新しい資本主義づくり」組み直しへの骨格



新しい資本主義（日本のマスタープランづくり）の青焼きづくりが必要と考える骨格

- 【地域から始める新しい資本主義】 1. コロナ禍が伝えた「自覚」と「生活自覚」の矛盾を是正の... 2. 「資本」「制度」「資源」「人材（主体者）」の発見... 3. 成長していくための「マインド」の作り方... 4. 「分かり易く実行可能な」目標と組立てが必要... 5. 「主体者の成長のために」が全て... 6. 「新しい資本主義」を具現化する... 7. 「新しい資本主義」を具現化する... 8. 「新しい資本主義」を具現化する... 9. 「新しい資本主義」を具現化する... 10. 「新しい資本主義」を具現化する...

「新しい資本主義」「デジタル庁」「デジタル田園都市」「デジタル臨調」への行動提起内容

6つのプロジェクトベース事業に集約. 地域から始める面としてのDX事業の青焼き. 民間投資を集約. 地域から始める新しい市場づくり. 具体的な福祉事業へ. 都市部の青焼き. 1. 「地域から始める新しい市場づくり」 2. 「民間戦略による実現突破」 3. 「次代技術利用による消費牽引」 4. 「新しい資本主義の考え方」 5. 「民間投資を集約」 6. 「地域から始める新しい市場づくり」 7. 「具体的な福祉事業へ」 8. 「都市部の青焼き」 9. 「民間投資を集約」 10. 「地域から始める新しい市場づくり」

【地域から始めるデジタル政策成功化への事業と内容「運営シナリオについて」】 一内外の民間投資集約に向け

デジタル庁の仕事を、国の資源（アクティビティ）を優先 「人の命を救い、生活・社会不安を軽減することのできる新しい生活・都市様式をつくることにある。」 「『個の主眼』『地域』『社会』『公共』『地域市場』を横断のベストな関係開拓」 1. デジタル庁は、地域⇨社会の「生産者、製造者、取引、物流、モビリティを含む多様なサービス事業者」 2. 「『個の主眼』『地域』『社会』『公共』『地域市場』を横断のベストな関係開拓」 3. 「『個の主眼』『地域』『社会』『公共』『地域市場』を横断のベストな関係開拓」